

## 「とにかく走り込んで」 つくりあげた 人の感性に訴えかける シャシー

交差点を曲がる時、車線変更をするときでさえ、スポーツカーとしての軽快なハンドリングを楽しめるかどうか。それでいて、ロングドライブも苦にならない落ち着いた乗り心地を備え、スポーツ走行等、高いGが発生する領域でも安定したハンドリングを実現できているかどうか。

S660のシャシー開発では、こうした非常に高い目標を設定してきました。

手法は、どこまでも「泥臭い」ものです。車両の基本レイアウトを緻密に検討して、重心高とロールセンター高を最適化し、サスペンションのジオメトリを定めてセッティングを突き詰める。こうして「基本に忠実な設計」を丹念に行った上で、北海道の鷹栖プルービンググラウンドでとことん走り込み、人の感性に訴えかける性能を追求しました。

